

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第48号	氏名	角川淑子
学位審査委員		主査	由井克之
		副査	江口勝美
		副査	大園恵幸
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、自己免疫性胆管炎が独立した疾患なのか、或いは原発性胆汁性肝硬変に含まれる疾患概念なのかについて明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 多数の患者を対象として、長期間にわたり経過観察を行った。特に診断の鍵となる抗ミトコンドリア抗体については、感度・特性の異なる3種類の方法で検討しており、十分に妥当である。			
3 解析・考察の評価 疾患の経過に伴って抗ミトコンドリア抗体価が変化すること、さらに高感度の方法で調べると、自己免疫性胆管炎と診断された疾患の多くは原発性胆汁性肝硬変と考えられることを明らかにし、十分に評価できる。			
以上のように本論文は自己免疫疾患の診断・研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			